

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校2年	数学	数学BCセミナー	3	GA
教科書・副教材		NEXT 数学B（数研出版）、NEXT 数学C（数研出版） サクシード数学II+B+C（数列 統計的な推測 ベクトル）（数研出版）		

科目の目標			
■数列、統計的な推測、ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ■離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 ■大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ■数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	■等差数列・等比数列の性質を理解し、和の公式や漸化式を用いて項を求めることができる。また、数学的帰納法の仕組みを理解している。 ■確率変数の期待値、分散、標準偏差の意味を理解し、標本調査の結果から母比率や母平均を推定する手法を習得している。 ■平面・空間におけるベクトルの概念を理解し、位置ベクトルや内積を用いて図形を数式で表現できる。	■隣接する項の関係性（漸化式）から一般項を導く過程を論理的に構築し、表現している。 ■推定された区間の意味を正しく解釈し、結論が社会的な事象や実験データに対してどのような意味を持つかを考察している。 ■ベクトルや複素数を用いて、平面図形や空間図形の性質（共線条件、垂直条件など）を論理的に考察している。	■数学的帰納法の証明や複雑な期待値の計算など、手順の多い課題に対しても、粘り強く最後まで遂行しようとしている。 ■統計調査のシミュレーション等を通じて、結果が予想と異なる場合にその要因を考え、手法を改善しようとしている。 ■空間ベクトルの複雑な計算や、二次曲線の軌跡の問題に対し、図を丁寧に描いて構造を把握し、最後まで取り組んでいる。
評価の方法	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など	定期考査／単元テスト パフォーマンス課題 リフレクション など

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	【数学B】第1章 数列		定期考査
	第1節 等差数列と等比数列	8	単元テスト
	第2節 いろいろな数列	8	パフォーマンス課題
	第3節 漸化式と数学的帰納法	10	リフレクション
2 学 期	【数学C】第1章 平面上のベクトル		定期考査
	第1節 ベクトルとその演算	12	単元テスト
	第2節 ベクトルと平面図形	12	パフォーマンス課題
	【数学C】第2章 空間のベクトル		リフレクション
	空間のベクトルの成分・内積・図形への応用	16	
3 学 期	【数学B】第2章 統計的な推測		定期考査
	第2節 統計的な推測	16	単元テスト
			パフォーマンス課題 リフレクション